

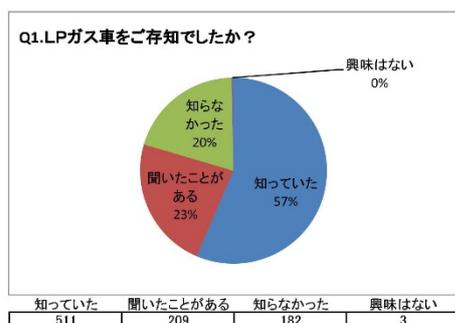
第8回大阪モーターショーにLPガス車を出展しました



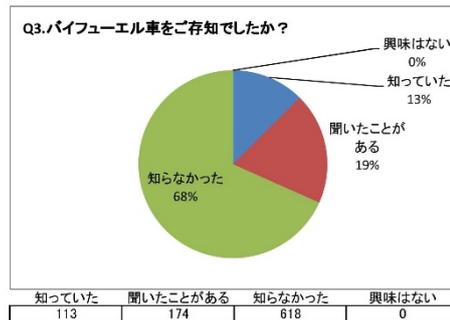
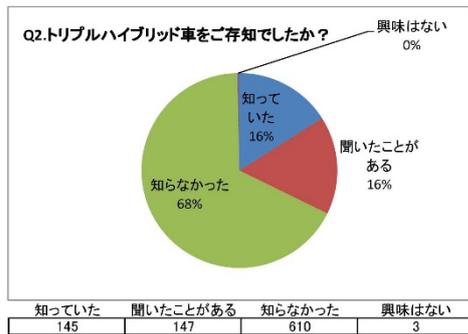
西日本最大級の自動車展示会「第8回大阪モーターショー」が平成25年12月20日から23日までの間、大阪市住之江区のインテックス大阪で開かれ、子供連れやカップルなど、来場者 304,319 名と大いに賑わいました。

LPガス業界からは、近畿LPガス連合会と(一社)全国LPガス協会、LPガス自動車普及促進協議会が共同で参加し、LPG、電気、ガソリンの3つの燃料を使用して、航続距離が約1,500kmを走行できるトリプルハイブリット車の「TOYOTAアクアLPG」を出展しました。

☆会場で来場者の方に、LPガス車に関するアンケートにご協力頂きました

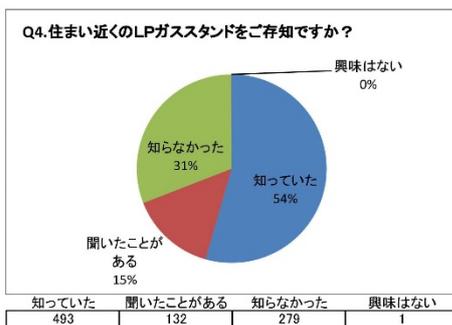


アンケートで6割近くの方がLPガス車をご存知なのは、タクシーで馴染みがあるようです。



LPガス、電気、ガソリンの3つの燃料を使うトリプルハイブリッドカーは出始めのためか知名度は低い結果となりました。

LPガスとガソリンの両方を使えるバイフューエル車は環境とコストを両立させて、かつ災害救援時など遠方の市町村にも出掛けられるため、市町村の環境部関係者には好評ではありましたが、PR不足のようです。



自宅近くのLPガススタンドの存在を知っている人も6割近くいることは意外でした。

また、それにともないLPガススタンドで個人でも充電が可能かとの問合せもあり、具体的な関心を示す方もいました。

アンケートはLPガス車を知らない人にLPガス車のメリットを伝えることに重点をおいて作成したのですが、会場では知られた存在であるような印象を得ました。

今後も、LPガス車導入について検討頂ける様、提案活動を行います。



改造部をアピール

LPガス車は燃料価格がガソリンの6割程度と安く、低CO2はもちろんのこと、窒素酸化物NOxや硫黄酸化物SOxもきわめて少ないなど優れた経済性と環境性能を持ち合わせていることをアピールしました。



自動車各社も環境負荷の低減を意識したコンセプト車を出展しており、「JPNタクシーコンセプト」を公開したトヨタ自動車では、LPガスを燃料としたハイブリットシステムを採用したミニバンタイプの次世代タクシーの試作車を展示していました。